

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

<b>事業名</b>	未利用市有地の一元管理と有効活用の促進事業							施策番号	
								V-3-(2)-②	
<b>コスト</b>	事業費	平成23年度執行額	平成24年度当初予算額	人件費 の目安	金額	46,150 千円	(備考)	担当局	財政局
		28,110 千円	70,655 千円		課長	0.6 人 職員 3.1 人		担当課	財産活用推進課
					係長	1.6 人		課長名	古澤

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	都市基盤・施設の効率的な活用・整備を図るため、ハード・ソフト両面にわたる既存ストックを最大限に活用することが求められています。厳しい財政状況の中、公共利用の予定のない未利用市有地については積極的な売却を進め、維持管理経費の削減とともに、自主財源の確保を図ります。	<b>成果実績</b>	成果の状況は下記のとおりです。
-----------	---------------------	---	-------------	-----------------

代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【成果の状況】
		未利用市有地の売却額 自主財源の確保のため、未利用市有地の積極的な売却を継続推進します。経営プランの集中取組み期間後の平成23年度においても、引き続き15億円を年間の売却目標額としました。 (最終目標と目標年度)	1,053 百万円	1,500 百万円	2,504 百万円 166.9 %	
	(最終目標と目標年度)			%	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	<b>大変順調</b>

<b>活動計画</b>	物件の掘り起こしや商品化により売出し件数の増加に努めるとともに、入札不調物件の最低売却価格の減額や売却情報の発信など、全市を挙げて積極的な取組みを講じ、売却目標額の達成を目指します。	<b>活動実績</b>	活動実績は下記のとおりです。
-------------	---	-------------	----------------

活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
		未利用市有地の売出件数の確保 未利用市有地の地質・埋設物の委託調査や鑑定額の評価調査など商品化に積極的に努めることで、売出し件数を確保します。	93 件	60 件	59 件 98.3 %	
	売却情報の積極的な発信 一般競争入札や先着順での売却のための情報誌の配布、チラシの日刊新聞の折込、市政テレビ・ラジオの広報、また、現地の看板・幟の設置、住宅展示場での広報などあらゆる方法で情報の発信を行います。			%	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	<b>順調</b>

### 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	・未利用市有地の売出し件数は、計画どおりほぼ確保できました。また、積極的な情報発信を行い、売却額はマンション用地などの大規模な土地の売却や前年度の契約分などにより目標額を大幅に上回りました。 ・売上額の増加要因のひとつとして、市内分譲住宅着工戸数の前年度比増加などが考えられます。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	・25億400万円の売却額に対して、コストは約7,400万円(職員人件費46,150千円、事業執行額28,110千円)です。経費等の節減により、前年度比で約2,000万円の減額となっています。今後とも土地売却に係る必要な各種調査の効率化などに努めます。 ・平成16年度から民間の宅地建物取引業者3団体と媒介協定を締結し、これまでの実績は4件です。

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

<b>見直し状況等</b>	課題 集中取組み期間後の平成23年度以降の売却目標額を15億円としていますが、23年度は大規模物件も含め好調な売却により、目標額を上回る結果となりました。24年度については、これまでの在庫分の売却が進んだため、売却は厳しさが予想されますが、売却額の目標達成に向け努力を継続します。現状の未利用市有地には、関係部局や地元との調整等に時間を要するため、売却に至っていないものも見受けられ、今後これらの商品化に向けての積極的な整理に取り組むことが課題であると考えています。	
	次年度の活動計画(見直し内容)	その結果目指す成果(次年度の成果目標)
	売却額の目標達成へ向け、課題解決を図ります。具体的には、未利用市有地の所管局との協議や洗い出しを進め、その整理や商品化に積極的に取り組みます。また、売却に必要な商品化やPRの経費を確保するとともに、23年度決算状況を踏まえ経費の節減に努めることとします。	未利用市有地の売却の継続推進を図り、安定的な財政の確立に寄与します。